

令和8(2026)年度 事業計画(案)作成のためのプレゼンテーション

※資料は全て、NAS ▶「法人共有書式」▶「令和8年度事業計画・令和7年度事業報告関係」にあります



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

2025.12.20
幹部会議

1. 組織体制の変更について

〔説明者：施設長〕



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

✓R8.1.1～施行

✓係を廃止し、「課」へ

・総務係、特養係、医務係、在介係(4部署)→(3部署)総務課、施設介護課、在宅介護課

- ・総務課 : 従来の総務係と同じ …総務・経理・人事・労務・栄養調理部門
- ・施設介護課 : 従来の特養係・医務係 →相談支援・介護・看護部門(特養・SS・GH)
- ・在宅介護課 : 従来の在介係と同じ …DS、DS悠々、居宅

※各管理者: 課長

※役職者 : 施設長、副施設長、課長、主任(ユニットリーダー:主任級)

※職員証は年末に作成し、年始に配布(旧職員証は回収)



2. 中期経営計画〈2026.4－2031.3〉(素案)

[説明者:施設長]

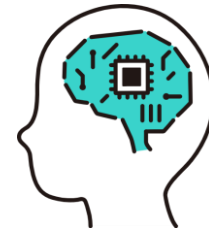


社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

目 標

“人材”と“技術”が未来を創る
～高付加価値ケアと永続的な信頼の確立～



人材

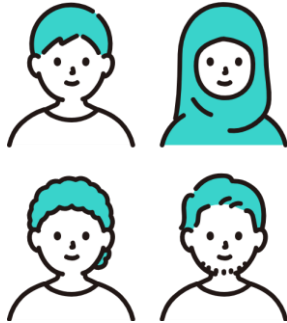
×

価値

×

技術

目指す状態(人的)



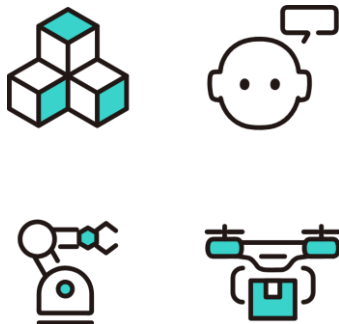
“多様な人材”が、
いきいきと勤務している



“福祉人材”が、
ご本人やその家族等に
寄り添った支援を行っている



“専門人材”が、
高い質のケアを提供している



“デジタル人材”が、
介護テクノロジーや
データの活用を行っている



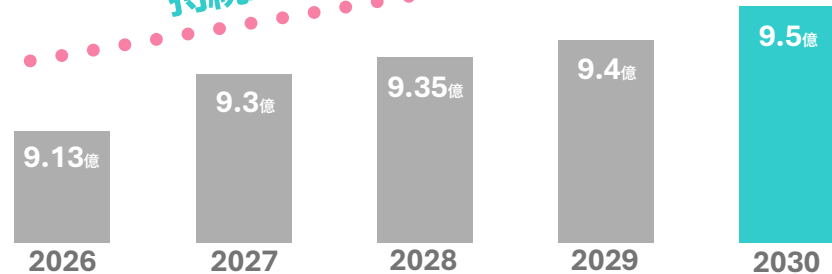
“マネジメント人材”が、
業務革新や事業創造に
チャレンジしている

目指す状態(収支的)

- ・ 業界内の中でも“賃金が高い水準”である
- ・ 毎年度、“プラス収支を継続”している

・ 事業高目標

安定した収支により
持続的な事業を継続します



・ 稼働目標

特別養護老人ホーム	77 人／日
併設短期入所生活介護	13 人／日
共生型短期入所	12 人／日
単独短期入所生活介護	19.5 人／日
認知症対応型共同生活介護	8.7 人／日
通所介護（総合事業を含む）	65 人／日
共生型生活介護	0.6 人／日
障がい者日中一時支援	0.8 人／日
地域密着型通所介護（総合事業を含む）	17.5 人／日
居宅介護支援・介護予防支援（受託を含む）	240 人／日
鈴鹿市介護予防普及啓発事業	1,500 人／日

勘定科目		令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度
事業活動による収支	収入					
	介護保険事業収入	913,000	930,000	935,000	940,000	950,000
	その他の収入	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業活動収入計	915,000	932,000	937,000	942,000	952,000
	支出					
	人件費支出	570,000 (62.2%)	580,000 (62.2%)	590,000 (63.0%)	600,000 (63.6%)	610,000 (64.1%)
	事業費支出	108,000 (11.8%)	110,000 (11.8%)	112,000 (12.0%)	114,000 (12.1%)	116,000 (12.2%)
	事務費支出	81,000 (8.9%)	83,000 (8.9%)	85,000 (9.1%)	87,000 (9.2%)	89,000 (9.3%)
	利用者負担軽減額	500	500	500	500	500
	支払利息支出	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
	その他の支出	3,500	3,800	4,000	4,200	4,400
	事業活動支出計	770,400	784,700	798,900	803,100	817,300
事業活動収支差額		144,600	147,300	138,100	128,900	124,700
施設整備等による収支	施設整備等収入計	0	0	0	0	0
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	72,000	78,000	78,000	78,000	78,000
	固定資産取得支出	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	0	0
	施設整備等支出計	79,000	83,000	83,000	83,000	83,000
施設整備等資金収支差額		▲79,000	▲83,000	▲83,000	▲83,000	▲83,000
その他の活動による収支	収入					
	短期運営資金借入金収入	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	積立資産取崩収入	0	0	0	0	0
	その他の活動収入計	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	支出					
	一年以内返済予定資金借入金支出	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	退職給付引当資産支出	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
	その他の活動支出計	52,800	52,800	52,800	52,800	52,800
その他活動資金収支差額		▲2,800	▲2,800	▲2,800	▲2,800	▲2,800
当期資金収支差額合計【収支差率】		62,800 [6.9%]	61,500 [6.6%]	52,300 [5.6%]	43,100 [4.6%]	38,900 [4.1%]

目指す状態（地域・関係機関等）

- ・ ステークホルダー（地域住民、自治体・行政、業界、他業種等）からの
“信頼”がさらに高まっている



自治体／行政



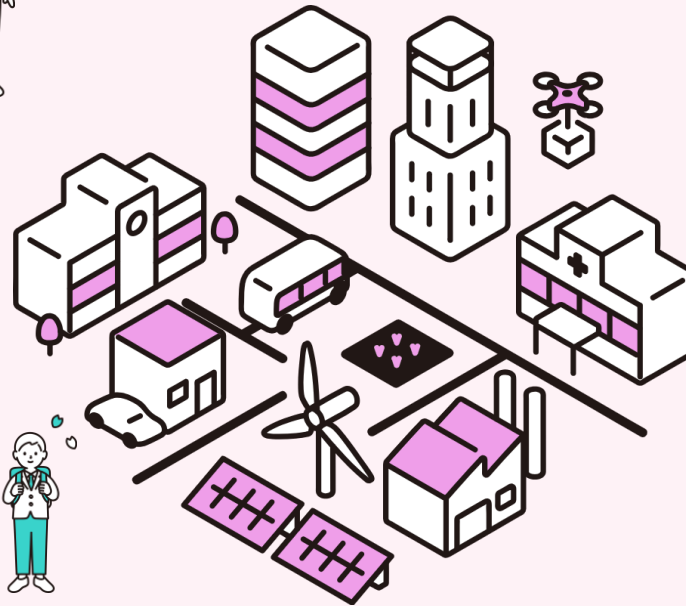
業界



地域住民



他業種



3. 令和8(2026)年度 事業計画(法人・素案)

[説明者:副施設長]



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

1. 方向性の整理

1

【目指す状態】

多様な人材が介護現場に入り、いきいきと就労している

2

【課題(よくない状態)】

世間から、特殊な考え方や介護技術を持った人が集まった業界、3Kの業界として認知されること

3

【課題の展開】

誰でも(男性・女性、若い方・年配の方、背の高い方・低い方、体力のある方・そうでない方、日本人・外国人)チャレンジが可能・・・介護・福祉への理解が深い方、やってみようと思う方、親・配偶者の介護の時のため、社会貢献、生活のため・・・介護の仕事に就いている理由は、いろいろな方がいます

介護テクノロジーは必須！

介護職員・グローバル介護人材・介護助手・ボランティアの活躍

介護テクノロジーは必須！

現場リーダーに就いたとき、相談職(相談員・ケアマネ)・総合職(事務長・施設長)を目指す職員も介護テクノロジーのスキルが必要！

介護スキル向上を目指す者は介護福祉士や介護技術のスキル向上を目指す
(ユニットケア・認知症ケア・ノーリフティングなど)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

1. 方向性の整理

必須アミノ酸「桶の理論」

介護事業運営もこれと同じ！

各課題を漏れなく対応していることで、組織は自信をもって適切に動くことができ、世間からの評価も高まる。これは駅伝や体操でいうところの「総合優勝」が最も称賛されていることからわかる。

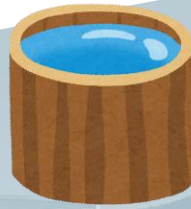


Point!

- ✓他の生物と異なり、人類は必要なアミノ酸(必須アミノ酸)を自ら体内で合成することができない。
進化の過程で捨ててしまった能力と考えられているが、必要なアミノ酸は食物から摂取する必要がある。
- ✓各食品には、制限アミノ酸がある。米の第1制限アミノ酸はリジンである。
リジンの摂取量が少ないと人は他の必須アミノ酸もリジンの側板の高さまでしか活用できなくなってしまう。これを必須アミノ酸の桶の理論という。



必須アミノ酸がバランスよく
摂取されていない状態
(一番低い側板が「リジン」)



必須アミノ酸がバランスよく
摂取されている状態
水は漏れない=全ての必須
アミノ酸を活用できる状態











令和8(2026)年度事業計画目標

「一つひとつの「できた！」を大切に、最高のチームを目指そう」

- ✓少子高齢化が急速かつ中長期的に進む中において、法人・事業運営上、必須アミノ酸と考えられること
- ・人材確保・育成・定着・定住
グローバル介護人材、介護助手、就労に制限(時間・日数・業務内容等)のある方など
情報発信
- ・介護テクノロジー・データ活用
介護ソフト、介護ロボット、インカム、ICT機器・アプリ、デジタル端末、デジタルネットワーク環境
LIFE、各種機器から得られる情報の活用
生産性向上
- ・介護予防(健康寿命延伸)
機能訓練、フレイル予防
- ・認知症ケア
- ・看取りケア
- ・地域における活動・公益的取組
- ・熱意、情意
- ・収支




2. 事業計画策定に向けた重点項目

-  (1) 介護業界のイメージ改革(アウトソーシングを活用した業務量の削減)
-  (2) 多様な人材の参入促進(グローバル介護人材含む)
-  (3) 介護テクノロジーの活用
-  (4) キャリアパスの明確化とスキルアップ支援(研修内容の改善、職員の確保・育成・定着)
-  (5) 各種規程・規則の改善(就業規則、給与規程、人事考課規程等)
-  (6) 各種経費の見直し(全勘定科目)
-  (7) 予実管理(スタッフ一人一人が意識した予算達成に向けた取り組みの実施)
-  (8) リスクマネジメント(介護事故・感染症・食品衛生・人権・虐待・火災・自然災害・BCP・法定点検)
-  (9) 品質向上と負担軽減(生産性向上・WLB等)の両立
-  (10) 情報発信(ホームページ等)

3. 各事業の稼働目標

計68,735人

	(1)特別養護老人ホーム	28,105人(77人／日)
	(2)併設短期入所生活介護	4,745人(13人／日)
	(3)単独短期入所生活介護	7,118人(19.5人／日)
	(4)認知症対応型共同生活介護	3,175人(8.7人／日)
	(5)通所介護(総合事業を含む)	16,940人(55人／日)
	(6)地域密着型通所介護(総合事業を含む)	4,620人(15人／日)
	(7)居宅介護支援・介護予防支援(受託を含む)	2,400人(200人／月)
	(8)鈴鹿市介護予防普及啓発事業	1,200人(延べ人数、開催100回以上)
	(9)共生型生活介護	180人(15人／月)
	(10)共生型短期入所	12人(1人／月)
	(11)障がい者日中一時支援	240人(20人／月)










社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

4. 収支目標

【1】収益

921,133千円(下限:875,077千円)

	(1)特別養護老人ホーム	433,156千円
	(2)併設短期入所生活介護	69,635千円
	(3)単独短期入所生活介護	107,442千円
	(4)認知症対応型共同生活介護	45,005千円
	(5)通所介護(総合事業を含む)	150,857千円
	(6)地域密着型通所介護(総合事業を含む)	41,610千円
	(7)居宅介護支援・介護予防支援(受託を含む)	30,182千円
	(8)鈴鹿市介護予防普及啓発事業	1,000千円
	(9)共生型生活介護	1,100千円
	(10)共生型短期入所	1,400千円
	(11)障がい者日中一時支援	1,150千円
	(12)補助金・助成金・その他収益	39,583千円



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

4. 収支目標

(2)費用

822,724千円

 (1)人件費 545,628千円 (下限の62.3%)

 (2)事業費 107,336千円 (下限の12.2%)

 (3)事務費 89,447千円 (下限の10.2%)

 (4)その他経費 13,417千円 (下限の1.5%)

 (5)借入金返済 66,894千円 (下限の7.6%)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

デイサービスセンター
特別養護老人ホーム
いちよう・ひのきユニット
ショートステイ
介護でユニット
※ 鈴鹿グリーンホーム

5. 研修計画

令和8(2026)年度 研修計画(案)

～自信と楽しさを育む「自分事」の学びでケアの質を飛躍させる～

基本方針:「やらされ研修」からの脱却と成果の最大化

令和8年度の研修計画は、「しなければならない研修」から「職員の自信を高め、自分事として楽しく学べる研修」へとパラダイムシフトを図ります。

これにより、多様な職員一人ひとりのスキルアップを確実なものとし、その成果を利用者へのケアの質向上に直結させます。

重点目標:「自信の醸成」を最優先

「自分事」として楽しく学べる環境の整備

スキルアップとケアの「直結」

この方針に基づき、全職員が主体的に学び、成長を実感できる計画を実行することで、組織全体の質の底上げと、地域社会に貢献できるサービスの提供を目指します。

月	研修名	テーマ・内容
4	消防訓練(部分訓練)・防災教育 心肺停止確認	✓ 消火・避難 ✓ 看取りケアの一環
5	感染対策・BCP及びシミュレーション訓練	✓ 感染対策 ✓ 災害時
6	基本介護OJTチェックリスト研修	✓ 高齢者虐待防止 ✓ 身体拘束適正化 ✓ 介護事故防止(安全対策)
7		
8		
9	感染対策・BCP及びシミュレーション訓練	✓ 感染対策 ✓ 災害時
10	消防訓練(総合訓練)・防災教育	✓ 消火・通報・避難
11	普通救命講習	✓ 安全対策・災害時への対応
12	基本介護OJTチェックリスト研修	✓ 高齢者虐待防止 ✓ 身体拘束適正化
1	事業計画策定研修	
2	安全運転 腰痛予防	
3	事業報告策定研修	
その他	✓ (毎月) 口腔ケア事例検討研修 ✓ (新規採用職員) 基本介護OJTチェックリスト研修 ✓ (新規採用未資格介護職員) 認知症介護基礎研修 ✓ (採用時) 採用時研修 ✓ 【外部】介護テクノロジー ✓ 【外部】認知症ケア ✓ 【外部】入浴介助 ✓ 【外部】ユニットリーダー ✓ 【外部】認知症介護実践者(リーダー) ✓ 【外部】デジタル中核人材 ✓ 【外部】行政・自治体・各種団体等が主催する専門研修 ✓ 【外部】DWT養成研修 ✓ 【外部】経営・運営・管理 ✓ 【外部】技能実習(技能実習指導員・生活指導員) ✓ 【外部】介護福祉士実習指導者 ✓ 【外部】看護実習指導者 ✓ 【外部】喀痰吸引等研修 ✓ 【外部】栄養管理	

【参照】各事業

- (1) 特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設
- (2) 短期入所生活介護(併設)

※重点項目で入れて欲しいこと

「24時間シート及び興味・関心チェックシートの内容の充実」

- ・ご本人の意向に沿った一定品質のケア提供
- ・多様な人材が活躍する介護現場の実現
- ・LIFE、ケアプランへの連携強化(特養)
- ・感染症、災害発生時への対応

「理念の浸透」



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

【参照】各事業

(3)短期入所生活介護(単独型)

※重点項目で入れて欲しいこと

「24時間シートの内容の充実」

- ・ご本人の意向に沿った一定品質のケア提供
- ・多様な人材が活躍する介護現場の実現
- ・感染症、災害発生時への対応

「理念の浸透」



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

【参照】各事業

(4) 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

※重点項目で入れて欲しいこと

「24時間シート及び興味・関心チェックシートの内容の充実」

- ・ご本人の意向に沿った一定品質のケア提供
- ・多様な人材が活躍する介護現場の実現
- ・LIFE、ケアプランへの連携強化
- ・感染症、災害発生時への対応

「理念の浸透」



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

【参照】各事業

(5) 通所介護・総合事業(デイサービスセンター)

※重点項目で入れて欲しいこと
「理念の浸透」

(6) 地域密着型通所介護・総合事業(地域密着型デイサービス)

※重点項目で入れて欲しいこと
「理念の浸透」



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

【参照】各事業

(6) 居宅介護支援・介護予防支援

※重点項目で入れて欲しいこと
「理念の浸透」

(7) 総務係

※重点項目で入れて欲しいこと
「理念の浸透」



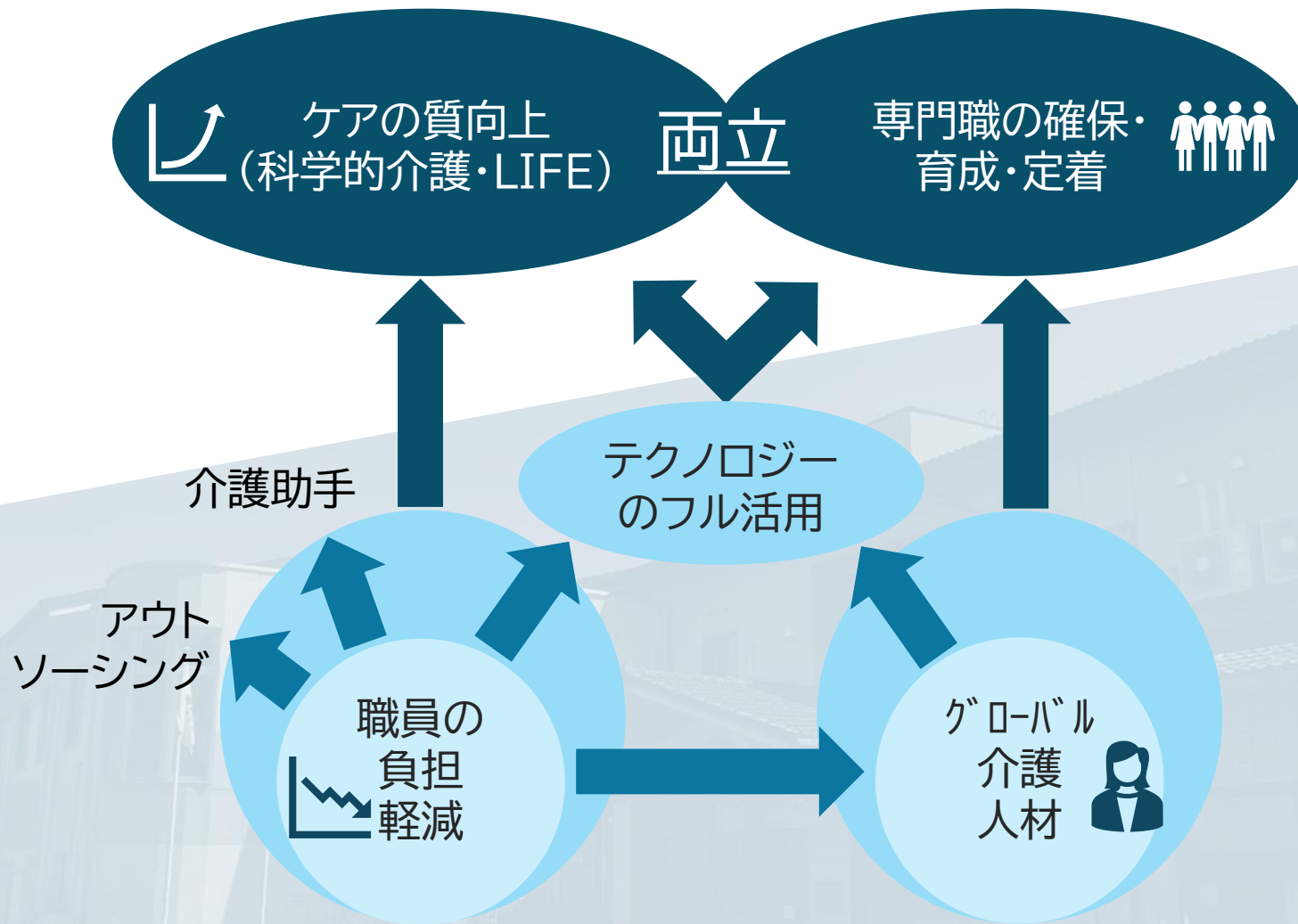
社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

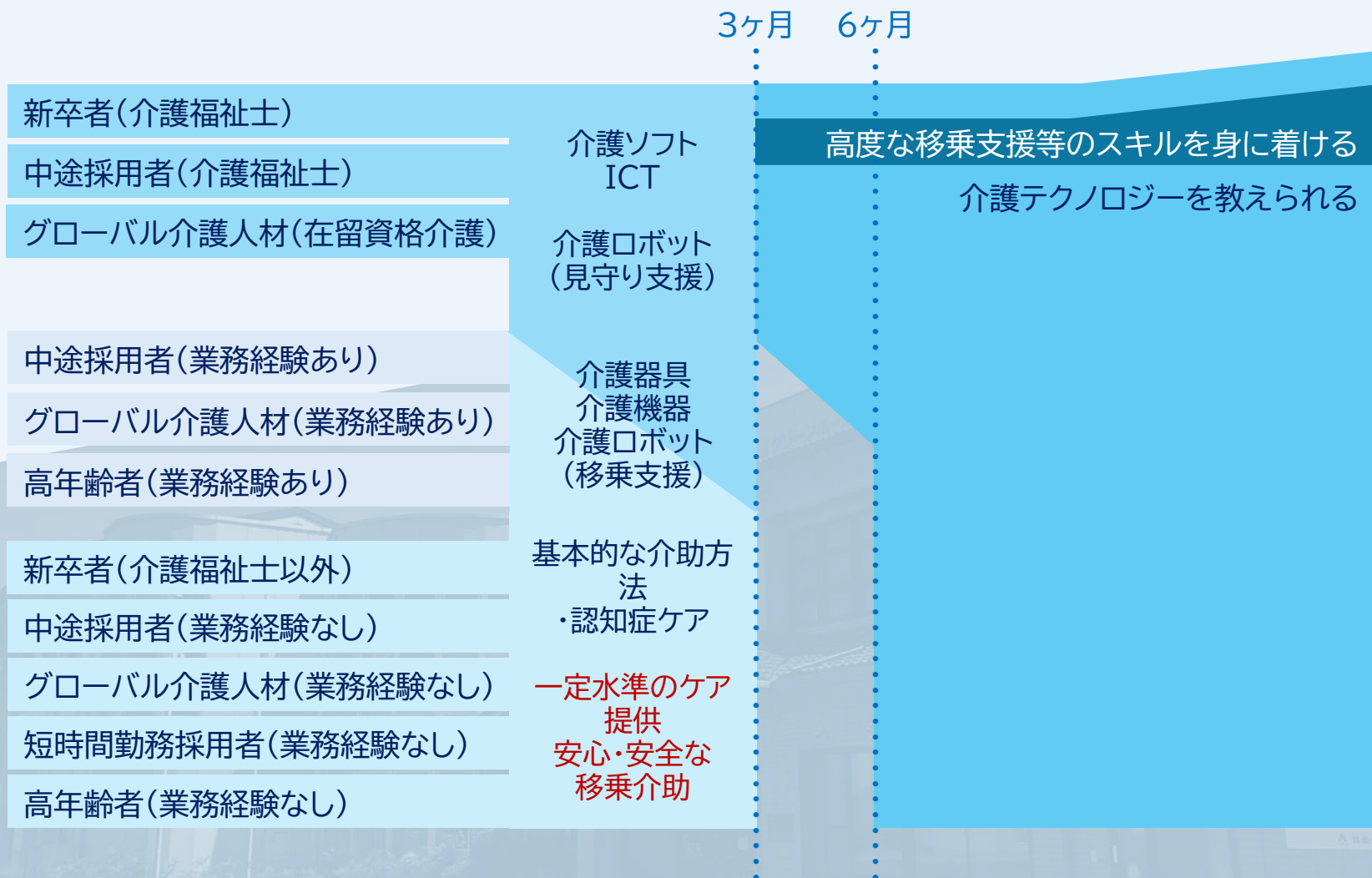
ケアの向上



各取組の関係性の整理



一定水準のケアの維持と育成期間の短縮を(安心・自信・安全)



4. 各課(部門)事業計画(素案)

5. 各課(部門)予算要求書(素案)

[説明者:施設長]



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

(1)スケジュール

日程	項目	担当者
2025.12.20	幹部会議 法人プレゼン	施設長、副施設長
2026.1.20	幹部会議 各部署プレゼン (各部署10分程度)	①特養、②併設短期(共生型を含む)、 ③SS翠風 ※介護・看護・相談支援、 ⑤栄養・調理、⑥DS(共生型・日中一時支 援を含む)、⑦居宅介護支援・介護予防支 援、⑧GH悠々、⑨DS悠々、⑩市受託事業
2026.2.20	事業計画・予算(素案)説明	施設長、副施設長
2026.3.12	理事会において提案	
2026.3.26	評議員会において提案	
2026.3.31	介護保険上の自己評価 (三重県HPよりDL)	①特養・②居宅介護支援・介護予防支援 (施設長)、③併設短期(副施設長)、 ④SS翠風(内山管理者)、⑤DS(村上管 理者)、⑥GH(平田管理者)、⑦DS悠々 (林管理者)
2026.4.1	令和8年度事業計画 開始	
2026.4.30	令和7年度各部署事業報告 (案)提出期限	



(2)記載方法

NAS内「令和8年度事業計画・予算要求書(各部署)」に記載

(3)提出方法

NAS内「令和8年度事業計画・令和7年度事業報告関係」フォルダに提出

(4)締切

令和8年1月18日(日) 午後5時(厳守)



令和7(2025)年度事業報告(案)について

[説明者:施設長]



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

(1)期限

令和8年4月30日(木) 午後5時(厳守)

(2)記載方法

令和7年度各部署事業計画 各項目に対する評価
※評価項目・方法については、以下を参照ください

【施設長】稼働(延べ利用者数)・収益

【副施設長】ユニットケアチェックリスト

【施設長・副施設長】見学受入

【各部署】内容と回数・各会議・外部研修、内部研修・訓練(BCP)・実習生受入・
体験受入 など

(3)提出方法

NAS内「令和8年度事業計画・令和7年度事業報告関係」フォルダに提出



(4)その他

✓併せて介護保険上の自己評価をお願いします

期限:令和8年3月31日

✓三重県ホームページ 福祉監査:「介護保険サービス事業に係る自己点検表について」

※ダウンロードして使用ください

【特養・短期入所・通所介護】(三重県ホームページ)

https://www.pref.mie.lg.jp/KANSA/HP/88942000001_00005.htm

【居宅介護支援】(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000925356.pdf>

【GH、DS悠々】

運営指導時(12/3,4)の自己点検票を提出

